



合併をして3年目を経過しようとしております。そのような中で、市民のみなさんの一体感をしっかりと醸成しながら、地域間の格差是正、均衡ある発展をということで、特に生活基盤整備、社会資本の整備に取り組んできたところでございます。油谷地区をはじめ、下水道が整備されるなど、新市建設計画は、ここ3年で順調に進んできていると思っております。

まちづくりへの取り組みについて

としつかりと手を携えて、そして理解しあいながら、協働のまちづくりを推進していくことでございます。そのためには住民参加を促したり、あるいはボランティアという形態でいろいろなことを進めていく必要があります。

昨年、私たちの環境を守るということで海岸清掃の日を設けさせていただきました。今年で2回目になりましたが、夏には1,600人を超す多くのみなさんにご参加いただき、15トン以上のゴミを回収していただきました。そして、毎年各地実施しておりますクリーンウォークin長門でも、まちのゴミもしっかりと回収していただいているわけでございます。こうしたことで確実に漂着ゴミも、また、まちのゴミも減ってきれいになっていると私は認識を

ここでご一つご紹介をさせていただきます。ただきたいことがあるのですが、実は9月発行のある月刊誌で「団塊世代が住みやすい街」ランキングという特集が掲載されておりました。ここ長門市は、全国で22位、そして中国四国地方では2位という高い位置にございました。

今後このような懇談会を定期的に行い、皆さま方からのご意見やご提言をお聴きする機会を設け、皆さまと一緒にまちづくりを進めてまいりたいと思っております。

しているところでございます。これからも皆さんと一緒に美しい環境づくりに努めてまいりたいと思っております。

ご承知のように新市になりました。新しい産業基盤、私たちの経済基盤となりうる産業づくりをやっているというところで、1次産業、2次産業、3次産業を足して6次産業という捉え方での取り組みを進めています。1次と2次と3次、それらをかみ合わせながら底上げをしていくことにも取り組んできたところでもあります。いわゆるグリーンツーリズムやブルーツーリズムという形も早くから試みていただいております。いろいろなイベントの開催も含めまして、皆さま方やはり地域に誇りを持ってやっていただける、そのためのサポートもこれから続けていきたいと思っております。

実は合併をしてまだ統一をしていないものがたくさんございます。特に使用料や利用料といった料金は、そのままになっているものもございいます。これを料金統一をしなければいけないのですが、特に水道料金については早く統一をするということで、合併前に合併をして3年を以て統一をするという約束事があるものであります。この9月議会でも水道料金統一の議案を議会で承認をいただきました。なにとぞ皆さま方にはご理解を賜りたいとお願いを申し上げる次第でございます。



まちづくり懇談会 報告

市内15会場で活発な意見交換

「豊饒の海と大地に笑顔行き交う未来のまち」実現に向けて、市民の皆さんからのご意見やご要望を直接お聴きする「まちづくり懇談会」を9月25日の三隅上地区を皮切りに、11月21日の通地区まで市内15会場で開催し、多くのご参加をいただきました。

まちづくりを進めていく上で貴重なご意見・ご提言をいただき、大変有意義な懇談会になりました。心からお礼申し上げます。

懇談会では松林市長がまちづくりへの取り組みについて説明を行い、市の担当者が「平成19年度の主要施策」、「各地区の主要事業」のほか、「水道料金の改定」や「ケーブルテレビのデジタル化」などについて説明しました。引き続き行われた参加者との意見交換会では、各地区で懸案となっている課題をはじめ、新市のまちづくりに関する提言など幅広い意見が交換されました。

松林市長の「まちづくりへの取り組みについて」の概要と、皆さんからいただいたご意見やご提言の中から主なものを紹介します。

まちづくり懇談会 開催日程		10月30日(火)	宇津賀地区
9月25日(火)	三隅上地区	11月1日(木)	向津具地区
10月1日(月)	三隅中・下地区	11月5日(月)	川尻地区
10月4日(木)	野波瀬地区	11月8日(木)	俵山地区
10月9日(火)	黄波戸地区	11月13日(火)	渋木・真木地区
10月15日(月)	日置地区	11月16日(金)	深川地区
10月18日(木)	伊上地区	11月19日(月)	仙崎地区
10月25日(木)	菱海地区	11月21日(水)	通地区

みやすいという、住みやすさを求めていくまちづくりもまた大きな方向であると改めて思ったところでございます。

来る2011年、山口国体が開催されます。長門市では、三隅地区で自転車ロードレース、長門地区では空手道、および少年ラグビー、そして油谷地区におきましてデモンストラクションとしてシーカヤックが開催されることになっております。ハードとともに、やはりおもてなしソフトもしっかり準備をしてみたいと思っております。

来年度は合併をしてまだ統一をしていないものがたくさんございます。特に使用料や利用料といった料金は、そのままになっているものもございいます。これを料金統一をしなければいけないのですが、特に水道料金については早く統一をするということで、合併前に合併をして3年を以て統一をするという約束事があるものであります。この9月議会でも水道料金統一の議案を議会で承認をいただきました。なにとぞ皆さま方にはご理解を賜りたいとお願いを申し上げる次第でございます。



主な質問・提言等

皆さんからの質問と提言にお答えします

6次産業づくりの推進

問 若者が働ける場をもっと増やしてほしい

答 私たちには地場産業というしっかりしたものがありません。この地場産業をどのように結びつけていくかということを考えてはなりません。これが地道ではありますが一歩正當な方法であらうと思っております。

それをするには、2次産業主体の地場産業の中で、1次と3次を連携させることにより雇用の創出、拡大あるいは商品開発などに広げ、それらを連携させる6次産業的な視野が大切だと思います。

情報通信網の整備

問 平成23年の地上波アナログ放送終了以降、ケーブルテレビ放送はどのようになるのでしょうか

答 デジタル放送化により平成23年7月24日には、アナログ放送は終了することとなっております。これによりケーブルテレビにつきましても平成23年には完全にデジタル放送へ移行する予定ですので、それ

観光地づくりの推進

問 国体開催を機に情報発信を積極的に展開してはどうですか

答 平成23年に開催される今回の国体については、ハード面よりもいわゆるソフト面を活性化していくその起爆剤としてとらえていくべきだろうと私も思います。

大切なことは、全国から来る人自身たちの最大のおもてなしをするということだろうと思います。そこを情報発信のまず出発点にして、そのおもてなしが成功すれば、将来的に観光の振興に確実に大きくつながっていくと思います。



学校教育の充実

問 学校の統廃合を進めると地域の若者が減ってしまうのではないだろうか

答 学校の統廃合につきましては、確かに地域から学校が無くなるというところで、非常に大きな問題であります。しかし、完全複式という状態がはたして良いのかどうか、交通手段が整えば通学可能であるということも考えるべきです。いろいろなことを考えながら説明会を開き、地域の方のご意見を聞きながら進める必要があると思います。

確かに地域から学校が無くなると帰ってくる若者が少なくなるかもしれませんが、そういう地域であればしっかりと努力していただいて、市外に出ておられる若者に帰っていただき、子どもさんを増やす対策も必要であらうと思います。

安心、安全面を考えながら、また、適正な規模の学校を考えながら、統廃合という判断をしていくことになってまいります。

児童福祉の充実

問 保育園の統廃合は今後どのように進むのでしょうか

答 保育園を運営する上での課題が3点あると捉えています。一

総合交通対策の推進

問 路線バスの運行時間を利用しやすい時間帯にあわせて調整してください

答 路線バスの運行時間について、どの時間帯の運行が一番利用しやすいのかは、利用される地域の人が一番ご存じだと思います。たくさんの方が利用しやすい時間を伺う場を設けて、本当に便利な時間がどうなのかをきちんと把握した上で、効果的な運行をするようバス会社の方とも協議をしたいと思っています。

生涯学習の充実

問 公民館の民営化についてのお考えを聞かせてください

答 条例改正により、公民館の指定管理ができるようになります。だからといってすぐにそれを実施するというわけではございません。しっかりと受け皿ができて、これならやれるという地域が声を上げられたところからお願いますという形で進めていきたいと考えています。まずは地域の皆さんからの要望が一番だと思います。

そして、いざ指定管理を導入する際には、これまで行政がやっていた予算的な措置についても考えております。

その他

問 合併して市民が一体感を感じるイベントやまつりを開催してはどうでしょうか

答 一体感を感じるというのは、イベントやまつりが一番であると思います。ふるさとまつりの開催方法については、合併前に協議しましたが、各地域の人たちがそれぞれの地域の良さを確認しあう場として、しばらくは残してほしいという意見が多くあり、続けさせていたいただいています。これを一本にするしないは別として、一体感が感じられるものをどこかで作っていくということは大切なことだと思っています。長門のふるさとまつり等の中で一体感を具現化できる場を考えていこうと思います。

市民駅伝についても、より参加しやすいものにして、旧3町のみならずも参加できる体制を作っていくことが必要であると思います。将来的には市内全域にわたるものも検討してまいりたいと思っています。

点目は児童の発達から見た集団保育の重要性です。二点目は、財政健全化から見た効率的な保育園の運営が必要であること。三点目は、0歳児保育など利用者のニーズに合った保育園を運営することです。

市としては、定員に対して50%以下の保育園で、しかも3歳以上の合計児童数が20人に満たない保育園については、統廃合について保護者のご理解をいただくということの中で、小学校の統廃合の方針等と調整しながら進めていこうと考えています。

三隅地域はすでに1ヶ所に統合されていますが、日置・油谷地域においては基幹保育園として日置に1ヶ所、油谷に1ヶ所で、多様化する保育ニーズに応えられる保育園運営をさせていただければと考えているところでございます。



ご意見・ご要望等

お寄せいただきました貴重なご意見やご提言は、直ちに解決できるもの、また、検討を要するものや即座に対応することが困難な問題もありましたが、庁内で十分検討し、少しでも皆さまのご期待にお応えできるよう努力したいと考えております。

ご意見、ご要望、ご提言の内容は次のとおりです。

・観光地づくり	19件
・生活関連道路の整備	11件
・農林業の振興	9件
・生活バス路線整備	8件
・学校統廃合について	8件
・まちなみ景観づくり	6件
・水産業の振興	6件
・CATVについて	6件
・市役所業務	6件
・河川愛護・河川整備	5件
・ごみ収集について	5件
・高齢者・障害者福祉の充実	5件
・保育園統廃合について	5件
・6次産業づくりの推進	4件
・雇用の促進	4件
・水道料金について	4件
・有害鳥獣対策	3件
・その他	3件
合計	16248件

問い合わせ 秘書広報課 広報広聴係
TEL 23-11117